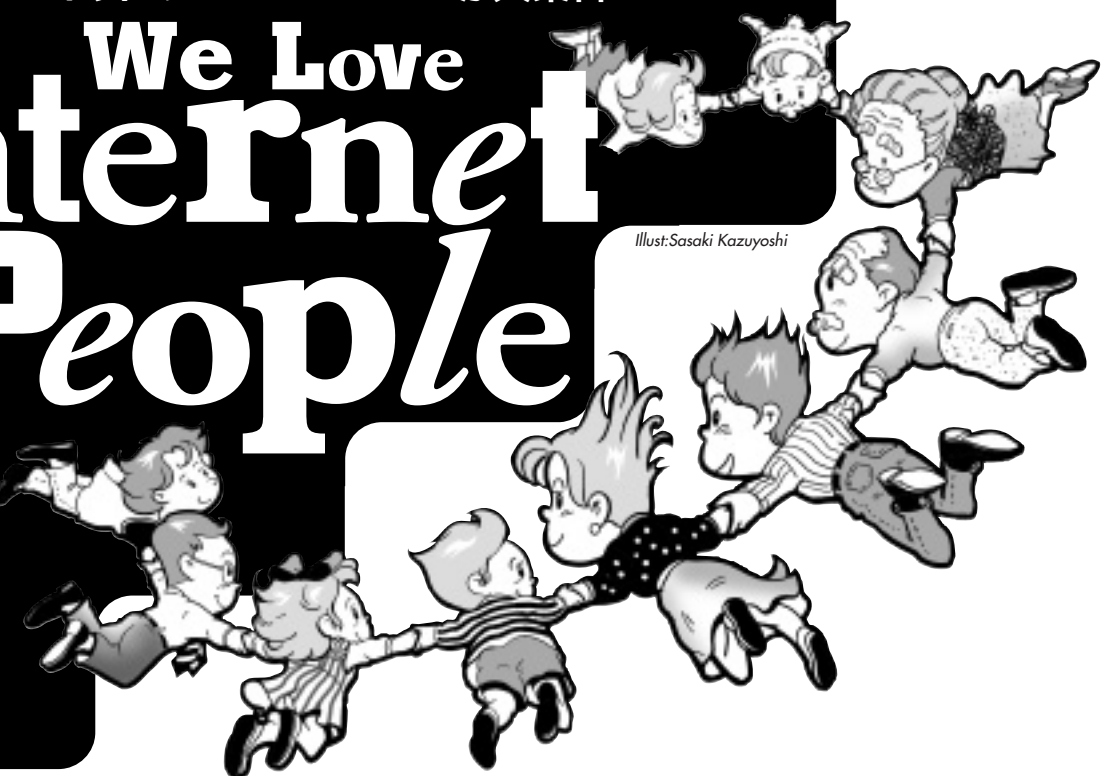


インターネットのCOOL & FOOLが大集合!

We Love Internet People

Illust:Sasaki Kazuyoshi

このコーナーは、インターネットピープルの皆さんと編集部を結ぶページです。皆さんの楽しいメールがこのコーナーを作ります。
Let's Access!



Reader's Voice

難しい用語が多くてなかなか読み進むのが大変ですが、勉強になるうえ暇つぶしに最適。眠くなるのが玉にキズですけど。
(匿名希望)

久しぶりに会った友人Yはインターネットを始めたばかりで楽しくて仕方ないらしい。これからすごいホームページを作るんだ!と張り切っていた。しばらくして完成したというメールをもらって見に行ったら、ご多分にもれず**子供の写真正ばかり**……。まあいいんだけどね。
(桜井寛司さん)

定価980円でよく**2枚もCD-ROM**が付けられますね。感心しています。
(神奈川県 吉田さん)

アンケートのインターネット利用用途についての質問の選択肢で、**チャットがないのは納得できない!**
(茨城県 山本たくみさん)

一連のISDN導入記事に触発され、TAを購入し、ISDNに移行しました。切替工事にNTTからの訪問点検が必要・不要との話があったと思いますが、私の場合もNTTの訪問点検が必要でした。理由は「NTT基地局から遠いため、**特に訪問する必要がある**」とのことでした。「遠い」というのはサービス圏の末端にあるということだろうと思いますが、こういう場合も訪問点検が必要になるようです。
(埼玉県 KTさん)

他には新築の場合も訪問点検対象となることがあるようです。(編集部)

子供を寝かせてからのインターネットの時間は楽しいのだけど、**途中で泣かれると腹が立つ**。なんとかならないのかなあ。
(ミツフィさん)

企業の約2/3で従業員が**勤務中にアダルトWWWサイトを**楽しんでいるんだって!うちのダンナもこのなかに含まれているのかしら?編集部の皆さんも思い当たる方います?
(さとうゆきえさん)

iMacから始める**インターネット**という特集を組んでほしい
(匿名希望)

最近、ころんで左腕を骨折してしまいました。もともとタッチ・タイピングもしていないんですが、右手1本でキーボードを打ち続けるのは、メール、インターネット等、数多くアクセスする私には、さすがに辛いです。皆様もおケガにはお気をつけくださいませ。でもその前に、**こういう時こそ音声入力ソフト**が役にたつんでしょねえ。
(北海道 関根政実さん)

from Editor
あなたが最近感じたことや思ったことをメールしてください。詳しくは381ページを!



テキストで表現する
五七五の調べ

あなたのインターネットにまつわる思いを
川柳で表現してください。

第六回

インターネット
川柳大会

Eudorax
今日も始まる 第一歩
「ホバー」の音「カ」が始まる。……。マックノーザ
ーは身「カ」覚えの音「カ」が始まる。……。(丸山 隆夫)

ウェブサイト
継続こそは かなり?
自分のウェブサイトを立ち上げたばかりの、
力を使い果たして、あんなに苦しい思いをしたこと
の、世のウェブマスターたちが「ウェブ」を乗り越えていくの
が、ウェブ。……。(山梨県 齋藤 隆夫)

ホームページ
「カ」が「フ」は 16歳
あえて「ホームページ」……。(丸山 隆夫)



Jalan Jalan 通信

山森 淳

URL <http://www.junmas.com/>

最終回

「そして、人生のネットワークへ」

アパカバー **APA KHABAR!?** (元気!!: マレー語)

APA KHABAR!?

1年間続けてきた連載も今回が最後。マレーシアから発信するホームページを通して、マレーシアやそこで起こったいろいろな出来事を伝えてきました。マレーシアも今では日本に住む多くの人々の関心に触れるようになってきたけれど、僕がマレーシアにやってきた8年ほど前には、まだ「アジアの時代」なんて言葉もなかったし、「マレーシアってどこにあるの?」といった質問も日

常茶飯事だったんだ。「JalanJalan」でもこの2年半に少しずつマレーシアの情報を拾い求める人が増え、その人達がオンラインやオフラインを通して次第にコミュニケーションの輪を作るようになっていった。「マレーシア」というキーワードを介して、そこにいくつもの出逢いが生まれていったんだね。時間と空間を越えた人の繋がりは、友情や恋愛、

そして結婚といった新しい人間関係を生み出したり、マレーシアに移住して仕事をするといい新しい生活を作り出したりした。キーボードから打ち出された単なる「デジタル信号」のやり取りが、生身の人間の人生をこんなに変えていくなんて、Jun & Masは本当に驚いているんです。

インターネット。それは単なる情報検索ツールなんかじゃなくて、国境や人種を越えて「人生と人生をつなぐ壮大なネットワーク」になっていく、そんな想いで一杯です。

今、マレーシアは、ヘイズ(煙害)や水不足、経済危機といった様々な逆境の中で21世紀のブレイクに向けて精一杯頑張っています。そんな生活の息吹をこれからも「JalanJalan」を通して見ていくれるとうれしいです。最後になりま

したが、今までこの連載を読んでくれた方々、編集部のみなさん、どうもありがとうございます! 今度はオンラインで会いましょう。それではマレーシアからさようなら。ジュンパ・ラギ!



Jun (右) & Mas (左) とマレーシアを JalanJalan しよう!

山森 淳 (Jun) ... 在マレーシア7年、1959年生まれ38歳。井上優 (Mas) 氏とともにマレーシア情報サイト「JalanJalan」を運営する。

私の ホームページ 自慢!

あなたの自慢のホームページを紹介します。どれも作者の自信作です。とくにご覧あれ!

とにかくおいしいものが食べたい!

大阪グルメ倶楽部

URL <http://member.nifty.ne.jp/menthol/>

「ちょっと変わった変な物が食べたい」、「食べるのは好きだけど、一緒に行ってくれる人がいない」といった人たちのためのページで、オフを開催し、実際に食べに行くことがメインの活動となっています。公式オフは1回/月のペースで行われていますが、メンバー内では、メンバーのみの非公式オフが頻繁(平均3回/月程度)に行われており、料理人を目指す14歳からプロの料理人まで約100名が参加しています。レストランガ

イドのサイトはたくさんありますが、実際にグルメオフまでを主催しているサイトは多くないし、「大阪グルメ倶楽部」は、オフの開催頻度が専断ではありません。是非一度お運びになってください。(メンソールさん)

日本語オペラ講演も行おう!
モーツァルト劇場

URL <http://www.alnt.co.jp/mozart/>

モーツァルトを中心とした音楽・オペラ愛好家の文化団体のホームページです。モーツァルト以外の優れた作曲家、作品をも紹介し、日本語オペラ公演、演奏会、会報など

の多様な催しにより、現代の創造の意義も探ります。(和気 泉さん)

やさしいプログラミング入門
ひまわり農園

URL <http://www.bekkoame.or.jp/~manachan>

お花と野菜がいっぱいの手づくりWindows工房です。初心者のためのやさしいプログラム講座など開講しています。(高橋まなさん)



FLASH3を使った
ハイセンスな素材集

Lupine (ルピナス)

URL <http://www.lares.dti.ne.jp/~tam/>

発売前のFLASH3を使った動きのあるHP素材集です。タイポグラフィの動きなども取り入れて見せるHPより触るHPにしてみました。素

材も現在700点以上あり、すべて透過GIF化してあります。とにかく一度見てください (tamさん)



兵庫県のだまんなか、
神崎町のページを見て下さい

URL <http://village.infoweb.ne.jp/~kanzakah/index.htm>

世界最大の大型放射光施設Spring-8の完成、世界一の吊り橋・明石海峡大橋の完成など、阪神淡路大震災から着実な復興を遂げている兵庫県のだまんなかにある輝く町「神崎町」のページです。何も無いまちですが……いやいやとんでもない見渡せばいろいろあります。ぜひ一度見て下さい。(MAYUMIさん)

from Editor

このコーナーで自慢のホームページを紹介したい方は、ページタイトルとURLに紹介文を添えて、編集部までメールしてください。紹介文に込められたあなたの熱意がアクセス増加につながります。詳しくは381ページを!

6月号記事に関する補足説明

特集「インターネット支払いシステム最前線」

P180~181「クレジットカード/引き落とし口座登録型の支払いシステム」について

このページで紹介している支払いシステムは、利用者のクレジットカード番号や預貯金口座をあらかじめ登録し、以後はその番号の別名として発行されたIDとパスワードをインターネット上の店舗のページで入力して支払いをするというものでした。この記事におきまして、こうした方式による支払いシステムに問題点のみがあるかのように読者の方々から誤解されるとの指摘がありましたので、この場で補足説明をさせていただきます。

このタイプの支払いシステムは、直接にクレジットカード番号や銀行口座番号がインターネット上を流れないようにするため、独自のIDとパスワードを発行し、しかもSSLなどの暗号技術を使って安全性を確保しています。利用者にとっては専用の「ウォレット(電子財布)」のソフトウェアを入手してインストールする必要もなく、WWWブラウザだけで使えるため利便性が高いものと言えます。そのためこうした方式を採用するインターネット上の店舗や会員の数も急速に伸びています。

一方で、利用者はクレジットカード番号や銀行口座番号を登録することで、身に覚えのない請求が来るのではないだろうかと思慮と不安に思っているということも事実です。

発行されたIDやパスワードを他人に貸したり、メモをして他人の目に触れるところに貼っておいたりということは論外としても、現実には第三者による不正なアクセスによってこれらの情報が盗まれ、悪用されるといって自己責任によらないことも原因となり得

ます。

こうしたリスクに対応するため、この記事で紹介しました支払いシステムの1つアコム社の「アコシス」では、入会時にはクレジットカードを作るときと同様な信用情報機関を使った入会者の信用審査を行っています。さらに発行したIDとパスワードの管理責任を明確にし、その代わりに利用者の管理責任に起因しない第三者による不正な使用に関しては、アコム社が支払いの負担をすることを明記しています。こうしてクレジットカード番号を登録するだけの他の登録型支払いシステムとは一線を画し、クレジットカードそのものと同様な機能とサービスをインターネット上で実現しています。

今後は支払いシステム自らが利用者自身の管理責任に起因しない「万が一」の事故への保証を明確にすることが、利用者の漠然とした不安を取り除き、さらにインターネットの支払いシステムが普及していくために重要なこととなるでしょう。

また、記事中の見出しにもある「運営主を見極める」という表現については、支払いシステムを装い個人情報を収集することを目的とする悪質なサイトも残念ながら存在しうするため、それに対する注意を利用者に促す意味であり、この記事で紹介している各サービスを指すものではありません。

ここに補足説明をさせていただくと同時に、誤解を招く内容がありましたこととお詫びいたします。

5月号の記事を読んで、 配線導入を決意した人が現れた!



その2 壁の中は線・線・線・・・

5月半ばに入り、いよいよ配線工事が始まった。壁と天井にグラスウールと下地材が付いたこの時期に、電気と電話の配管工事が行われる。電源コンセントや照明用配線、それにテレビアンテナの配線ならお手のものの電気屋さんも、

LANケーブルと各部屋へのISDNの送り配管にはこずった様子だ。ツイストペアケーブルを見たことがなかったそうで、私がお社から見本を借りて打ち合わせをする始末。マルチメディアコンセントはどこかで見たことがあると言ってくれたのが救いだ。

ともかく延べ一週間かけてケ-

ブル手配に手間取ったそうだが無事終了。気がかりだったので、1日おきに現場に行ってしまった。

右の写真が3階に設置した情報配電盤。右から入っているのがテレビ(共調)アンテナとバラボラ用(2本)、それにCATVの引き込み線。黒い配管のうち2本が電話(ISDN)の引き込みと送り配管の出口になる。残りの上下の黒い配管が各部屋に直結するスター型配管のLANケーブル。左側の束になっているのはテレビとCATVの各部屋行きの同軸ケーブルだ。左の写真はマルチメディアコンセントが付く予定の末端。グラスウールと下地材の間に配線されている様子が見えますか?

急に思い立ってこの配線の導入を始めたものの、事前の打ち合わせは本当に大切だと実感した次第。今回は機器の設置です。



この中にブースター、分配器、モデム、ハブ、DSUなどが入る。

いりえまこと 銀座の広告代理店に勤務する43歳。ビデオ・パソコン・キャンプ・家族をこよなく愛するごく普通のオヤジ。
E-mail mkirie@nks.co.jp



LAN, ISDN, TV, CATVと電源。このセットが9カ所に付く。

編集部からのお知らせ

AFTERCARE

7月号

「SOHO環境構築ガイド2」
P39のAPC Japanの製品の価格が間違っていました。正しくは、BK Office (19,800円) BK Pro300 (29,800円) でした。お詫びして訂正させていただきます。

「SOI通信」
P.301の本文中で、大学名が間違っていました。誤 東京工科大学 正 東京工業大学
お詫びして訂正させていただきます。

8月号

「主な商用ネットワークサービスプロバイダ料金一覧」
BROOK'Sインターネットの問い合わせ先電話番号とホームページ料金が間違っていました。正しい問い合わせ先電話番号は、045-909-1411です。また、ホームページサービスについては現在は提供されていません。お詫びして訂正させていただきます。

「日本のアクセスポイントマップ」
Highway InternetのISDNのアクセスポイントの記述が間違っていました。128k接続に対応しているのは東京23区内(03)のみで、その他のアクセスポイントは64k接続のみの対応となります。お詫びして訂正させていただきます。

アンケートにご協力を

読者の皆さまの意見を誌面に反映させるためにアンケートを行っています。アンケートの回答には、次の2通りの方法があります。

① 電子メール

アンケートフォームを請求する
ip-enq-req@impress.co.jpに電子メールをお送りください。タイトルや本文は必要ありません。パソコン通信からの場合はタイトルは適当で結構です。上記のアドレスに空メールを送っていただければ、アンケート記入フォームが差出人宛てに自動返信されます。

記入したアンケートを返送する
送られてきたアンケートに回答を記入してip-enq@impress.co.jpまでお送りください。アンケートフォームの請求先 ip-enq-req@impress.co.jp
回答したアンケートの送信先 ip-enq@impress.co.jp

② はがき

本誌に添付されているアンケートはがきに回答を記入して郵便ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。アンケートにご協力いただいた方の中から、毎月抽選で10名様にインターネットマガジン特製テレホンカードをプレゼントします。ご協力をお願いします。

会いたい！ あの人

話題のホームページの作者はどんな人？

INTERVIEW

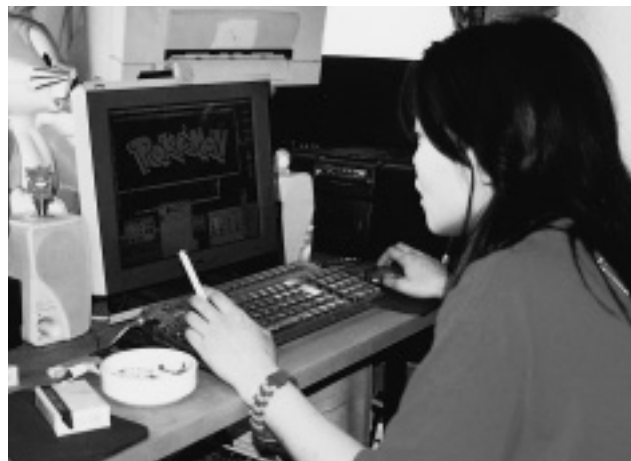
ゲームボーイのソフト「ポケットモンスター」通称「ポケモン」。このポケモンのホームページとして人気の「ポケモンだいすきクラブ」は、放送作家のひめはじめさんが作っている。ひめさんはWAHAHA本舗という劇団に所属しながら、「モグモグコンボ」や「ぐるぐる99」の構成を担当している。名前は前から耳にしていたが、ポケモン好きでホームページまで作っているとは知らなかった。ページ内のCGも自分で描いているという。梅雨の中休みで暑いなか、おもちゃがたくさんディスプレイされた、カラフルなマンションの一室に伺った。



愛猫のレゴとともにポーズをとる(?) ひめはじめさん。

「ポケモンだいすきクラブ」はどんなきっかけで始めたんですか？

96年の秋ごろにポケモンにハマってただけで、そのころはポケモンのページが全然なくて、子供のページ



ホームページ素材作成中の様子。アメリカ版アニメのスタートに合わせて、新しいコンテンツも追加される予定だそう。

でチャットくらいしかなかったのかな。伝言板と掲示板があったんだけど、人気があって発言が多いからログはどんどん流れていっちゃって、情報として貯まっていけない。いつも同じ質問と答えが繰り返されて、私も知りたいこといっぱいあるのと思っていたんです。「たまごっち」がブームになる少し前で、小学生の間ではもう流行っていたころ。たまごっちもいいけど、ポケモンはあまりにもいいゲームだから。変なページが出てきたら許さん！ってところで、じゃあまともなもの作ってやろうと。作ろうと決心したときは大変だろうなとは思ったんだけど。

どんなところが大変でしたか？

ほとんど投稿のページで構成されているんですが、最初は何もないから、私が例を作って載せたりとか。そうすると見る人もノリがわかってきて投稿してくれるんだけど、最初の頃はそのメールが1日30通くらい来て、月に合計1000通近くになります。コピー&ペーストで編集していくだけだからまだいいんですけど、そのときはヤパーイと思って気

が狂いそうになってました(笑)。メールを読みに行くと、いつも30通くらいダーツと届いていて。

今、アクセス数はどのくらいですか？

1か月単位でしか計ってないんですけど、2月には15万アクセスくらいでした。それでもまだ落ち着いているほうで、アニメの事件のあったときや、去年の夏休みとかはもっと行ってましたね。これからポケモンスタジアムが出たり、アメリカ版が出るとまた増えるかもしれません。

どんどん書き込まれる伝言板もあるから大変ですね。

ネット初心者や、子供で掲示板の使い方がわからなくて入力ミスするコも多いので、1日3回くらいチェックして、やばいのは削除したりします。この頃はみんな慣れてきて、それほど大変じゃないですけどね。

アクセスする人の年齢層は？

親子でやっている人も多くて、下は

小学校1年生くらい、お父さんに掲示板に書いてもらってという子もいます。大人だと30代後半くらいまで。チャットだと、ハンドルネームだからわからないけど、年齢を聞くと、35歳と小学5年生と一緒に喋ってたりして。珍しいですよ。大人と子供が伝言板で長話しているのは、ここくらいじゃないかな。

全体にすごくすっきりして軽いページですけど、こだわりはあるんですか？

めっちゃめっちゃこだわってます。投稿のページは、増えてくるとジャンルを分けたりとか。目次の構成は実はいろいろなことを考えてるんですよ。突然大きく変えると、よく来てくれる人がわからなくなっちゃうし。とにかくトップページを見れば中身がすぐにわかって、クリックすれば一発で情報が出てくるのが大事ですね。階層を深くすると、いくらわかりやすく作っても見てもらえないんです。一階層で作るのが理想ですね。あと、「私のページによるこそ」みたいな感じでやるのは嫌いなので、管理人はあまり出てこないようにしています。管理人が偉そうなのって、人が来づらいんですよ。

みんなが自由に参加して、そのなかで社会ができて勝手にやってくださいみたいなのがいいですね。

ポケモンはどこがいちばん面白いところですか？

ゲームがまだ発売される前に、作者の田尻智さんの本『新ゲームデザイン』を読んで、今度ポケモンというゲームが出るって知ったんです。それまでもゲームはいろいろやっていて、面白いのと面白くないのはあるんですけど、どういう点が面白いのかわからなかった。田尻さんの本で、結局遊びとして面白いのが面白いらしくわかったんです。ポケモンは遊びとして面白いし、ゲームの中だけで終わってないのがいいところですね。

CGはまったくの趣味だそうですが、いつごろ始めたんですか？

ソニーのお絵かきマシンがあるんですよ。ビデオにタイトルを付けたり、フリーハンドでいろいろな絵が描けるヤツ。最初はそれを使っていました。私が構成していた番組でCGの企画を出した時に、予算があまりないからやってくれないかって言

われて、お絵かきマシンで描いたヤツをコンピューターでやりましたって出したこともありますよ。「大変だよ、これ何百万円すんの」って言われて、本当は2万が3万円くらいの機械なんですけど(笑)今はマックで「インフィニD」を使っています。ライトウェブで細かいものも作ったりするけど、プロじゃないし味がなくなっちゃうのはいやなので、インフィニDが多いですね。

ほかにも、ゲームソフト「マザー」のページ(<http://www.t3.rim.or.jp/pokemon/>)を始めたそうですが、

「マザー2」が出てから4年くらいになるんだけど、海外にはいろんなページがあるのに、日本には全然ないんで作っちゃったんです。なにか思いついたら、すぐにやっちゃうんですよ。ポケモンのページではなるべく表に出ないようにしていますが、



「ポケモンだいすきクラブ」

URL <http://www.maccentral.or.jp/pokemon/>

自分を殺しているってけっこうストレスたまるので、マザーのページは思いついたら個人ページっぽく作って、ストレスを発散してます。

(Interview&Text by 鈴木康之)

URL <http://www.asahi-net.or.jp/~hh5y-szk/>

投稿

このコーナーは読者の皆さんからの投稿で成り立っています。

大募集!

ぜひ! あなたのメールアドレス帳に『インターネットマガジン 投稿(ip-box@impress.co.jp)』を登録してね!

「インターネット川柳大会」

インターネットについての出来事や意見を、粋な川柳に変身させてください。びりっと風刺の効いた作品をお待ちしています。

「インターネット大奮戦！」

TAの設定で四苦八苦、FTPのやりかたがわからなくて悪戦苦闘……など、インターネットにまつわる諸々の苦労したこと、試行錯誤したことをレポートしてください。あなたも身に覚えがあるはずだ!?

このほかにも「カタカナ英語撲滅隊」「Reader's Voice」「私のホームページ自慢」、本誌の感想、新企画案など、身の回りで起こったインターネットにまつわることやアイデアを、どんどんメールでお送りください。なお、投稿の際はお名前(ペンネーム可)、ご住所も明記してください。

宛て先はすべて

ip-box@impress.co.jp

です。掲載された方にはテレホンカードをお送りいたします。投稿お待ちしております!



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp